



なかっこだより

平成30年9月10日 発行

学校だより
(前期後半スタート号)
第6号
多古町立中村小学校
校長 藤崎 睦

“勉強の秋” “スポーツの秋” “読書の秋” など、充実感を味わえる“秋”の到来！！

40日間という長い夏休みが終わり、いよいよ前期の後半がスタートしました。今年の夏は、特に「オリンピックイヤー」や「高校野球フィーバー」といったスポーツの話題があったり、「熱中症」や「台風」といった気象の話題があったりなど、話題豊富なこの2ヶ月でした。そして、夏休み明けとなる8月30日（木）の初日。5年生に新しく転入生が1名加わり、計119名の児童が、全員そろって元気にスタートすることができました。

前期後半は、残暑こそはありますが、まもなく“秋”のシーズンを迎え、“勉強”にも“スポーツ”にも、さらには“読書”にも最適の季節となっていきます。

さて、これから12月までの主な行事としては、



- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 9月15日（土）中村小大運動会 | 10月 2日（火）中地区敬老会 |
| 10月 5日（金）前期終業式 | 10月 6日（土）多古町民運動会 |
| 10月11日（木）後期始業式 | 10月20日（土）多古町神崎町ミニバス大会 |
| 10月22日（月）校内研究会（各教科・道徳・特別支援教育） | |
| 10月26日（金）27日（土）香取郡市ミニバス大会 | |
| 11月 8日（木）多古町音楽会 | 11月14日（水）学校開放日・地域ミニ集会 |
| 11月27日（火）多古町指定公開研究会（算数） | |
| 12月 6日（木）校内マラソン大会・もちつき大会 | |

など各種行事が予定されています。新しい学習指導要領（H32～）の移行期間である今年、全職員が様々な研修を積み、子供たち一人一人の学力向上のため、日々の授業を大切にし教育活動にあたっていきます。また、運動会を始めとして、様々なスポーツにチャレンジし、身体を鍛える絶好のシーズンになります。さらには、学校図書館や町の図書館などを利用して、様々なジャンルの本に親しむには気候的にも良いシーズンを迎えます。何事にもねばり強く頑張る“なかっこ”集団のより一層の活躍を、これからも期待しています。



本校の学校教育目標のなかに

“徳…心豊かな子” “体…明るく元気な子” “知…よく考え頑張る子”

という“目指す子ども像”があります。この秋のシーズンを通して、知・徳・体の充実を図っていきたいと考えています。今後も、学校・家庭・地域の三者協働でなかっこ集団を育てていけたらと思います。家庭や地域の皆さんの益々の御理解・御協力をよろしくお願いします。

◇『中村小秋季大運動会』迫る！！◇

来る9月15日（土）に、『秋季大運動会』が開催されます。当日は、8時20分より開会式が始まります。鼓笛パレード有り、親子競技有り、敬老・児童合同の玉入れ有り、PTA・職員レース有りなど、盛りたくさんのイベントです。近所の方々もお誘い合わせの上、どうぞ御参観ください。



お知らせ

夏休み中に、空調設備工事が完了し、8月30日（木）から各教室でエアコンが使用できるようになり、快適な状態で授業が受けられています。また、体育館屋根の補修工事も終わり、雨漏りなく体育館が使用できるようになりました。環境が整い、気持ち良く学校生活が送れています。

＜参考＞ 『心の成長』 について

○家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！

地域で奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員としての自覚が芽生えていきます。

家庭・学校・地域での人とのつながりを大切にし、豊かな心を育みましょう。



○家庭で、「家族の心のつながり」を大切にしていますか？

★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真剣な対話が生まれます。

★ 地域行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。

★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切にし、他人を思いやる心が育ちます。

★ 子どもにとって、「お手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを実感する良い機会です。また、それを継続することで、子どもの責任感が育ちます。

★ 自然体験活動をとおして、豊かな感性が育ちます。

○「地域とのつながり」を大切にしていますか？

子どもと関わる大人同士が、「つながり」を持つことが重要です。

★ 地域行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。

★ 人との交流で、認められ、自己存在感に気づき、人間関係づくりができます。

○子どもの言葉遣いは気になりますか？

大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされることが大切です。

まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。

◆子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。

◆あいさつは、人との交流の基本。まず、あいさつのできる子を育てましょう。

○家庭で家族のコミュニケーションづくりを大切にしていますか？

ご家庭で子どもと話していますか？

「この頃、変わったことはない？」と語りかけてみましょう。

大人が子どもの話を真剣に聞き、心をくみ取り、聞き手のお手本を示しましょう。

人は、言葉を使って自分の気持ちを相手に伝え、相手の心もくみ取ります。

まず、大人が手本を示し、丁寧な言葉を使いましょう。



＜参考資料＞ 千葉県教育委員会『学校から発信する家庭教育支援プログラム』より

